

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 一級河川 高梁川水系 学恩寺川 測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名		Bor. No. 3		調査位置		広島県庄原市東城町川西 地内		北 緯		34° 54' 6.6418"	
発注機関		広島県北部建設事務所庄原支所		調査期間		2021年 12月 22日 ~ 2021年 12月 24日		東 経		133° 15' 58.4139"	
調査業者名				主任技師				現 場 代 理 人		コ ー ア 確 定 者	
孔 口 標 高		T. P. 346.23m		角 度				方 位			
総 削 孔 長		5.00m		使用機種		試 錐 機		東邦地下工機 D1-B48		エ ン ジ ン	
								ヤンマー NFD-12		ポン プ	
										東邦地下工機 BG-3C	

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現 場 土 質 名 (模 様)	現 場 土 質 名	地 盤 材 料 の 工 学 的 分 類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔 内 水 位 / 測 定 月 日	標 準 貫 入 試 験						試 料 採 取 深 度 (m)	試 料 採 取 方 法	室 内 位 置 試 験	削 孔 月 日				
												深 度 - N 値 図										深 度 (m)	100mm ぐ づ の 打 撃 回 数	打 撃 回 数 の 貫 入 量	50 回 の 貫 入 量
1	344.93	1.30		硬混じり粘土質砂		褐			新 生 代	0.3mまでは表土化が著しく、細粒分に富んでいる。以深、徐々に粗粒分が増す。水分はφ20mm以下が主体をなす。礫岩強風化土の可能性が高い。	12/23 3.28	0	1.15	9	12	21	42	300							
2	344.33	1.90		強風化礫岩		暗褐			新 生 代	岩組織は不明瞭からやや明瞭へと変化する。粘土質砂礫状のコアをなす。【DL級、硬混じり土砂に相当する】	12/23 3.28	42	1.15												
3	342.63	3.60		風化礫岩		黄褐灰			新 生 代	礫岩を主体に、砂岩の薄層を挟みこむ。コアはφ6~30cm強の短柱~柱状を呈す。完全に固結しているが、堆積軟岩の域を出ない。2.28~2.44間、3.24~3.60間には特に固結度が高い。【CL級、軟岩Iに相当する】	12/24 3.19	150	2.05												
4	342.28	3.95		風化砂岩		暗褐灰			新 生 代	砂岩、シルト岩の細互層をなす。よく固結している。【CL級、軟岩Iに相当する】	12/24 3.84		3.00	貫入不能				50	0					12/23	
5	341.23	5.00		風化礫岩		淡黄褐			新 生 代	均質な礫岩である。コアは10cm以上の柱状を呈す。完全に固結しているが、堆積軟岩の域を出ない。分離面は掘削による割れである。【CL級、軟岩Iに相当する】	12/24 3.84		4.00	貫入不能				50	0					12/24	